

白石東地区交通安全実践会から

「自転車の交通安全」について

●自転車の点検整備をしよう

★ブレーキは前輪、後輪ともよくきくか。★サドルは固定され両足が地面に着くように調整されているか。★ハンドルは前輪と直角に固定されているか。★自転車の各部品(ライト、警音器、ペダル、チェーン、尾灯や反射材等)が確実に取り付けられているか。★タイヤは十分に空気圧があり、すり減っていないか。

●自転車に乗った時のルールを守ろう

★自転車は車道を通行することが原則で左側通行。★歩道の通行は例外で、歩行者優先で車道よりを徐行する。★自転車が歩道を走ってもよい場合とは、①「歩道通行可」の標識などがある場合、②車道の通行がむずかしい場合、③13歳未満のこどもや70歳以上の高齢者の場合。★安全ルールを守り、子どもはヘルメットを着用。★安全ルールとは、①飲酒運転、二人乗り、並進、片手運転等の禁止、②夜間はライトを点灯、③交差点での信号遵守、一時停止、安全確認の実施。

●危険行為を繰り返すと「自転車運転者講習」受講が義務に

危険行為とは、①信号無視、②遮断踏切への立ち入り、③指定場所の一時停止違反、④歩道通行時の通行方法違反、⑤制動装置(ブレーキ)不良自転車運転、⑥酒酔い運転、⑦その他の危険行為(通行禁止違反、徐行違反、通行区分違反、交差点での安全義務違反、安全運転義務違反等)。

●知っておこう、自転車を運転していて交通事故を起こした時の責任

★刑事上の責任、懲役・禁固・罰金などの処罰を受ける。★民事上の責任、被害者に損害賠償をしなければならない。★道義的責任、被害者へ謝罪する責任がある。

皆さん、自転車に乗っても交通安全に努め、交通事故のないように気を付けましょう。

(中村)



取材スタッフ 市橋〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・田森〔まち協〕・福田〔まち協〕・横野〔まち協〕・小笠原〔まち協〕

石山〔まち協〕・長井〔体振〕・中村〔実践会〕・木田〔青少年〕・鈴木〔青少年〕・甲斐〔民児協〕

スタッフ
募集中!

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694 (休館: 土・日・祝日)

第37号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!

白石東〔雪あかりのまち〕開催

白石東地区町内会連合会が主催した第6回 アイスキャンドル {みんなのあったかい気持ちが灯る☆☆☆ 雪あかりのまち}というイベントが、平成29年1月27日に開催されました。当日は、暖気で開催2時間前まで降雨という気象状況の中での準備でした。

風が強くキャンドルの炎が消えてしまい、手分けしての着火、だんだん気温も低くなり、寒い日の開催時間には、冬本番の気候となりました。

北東白石地区では、地域活性化委員会が中心となって、平和駅北口を基点に13条通りをメインにアイスキャンドルで飾りました。

今年度も、同時開催のところからJR平和駅南口乗降口前に階段状のステージを作り、白石東まちづくりセンター金谷所長をはじめ、大谷地第一町内会、柏町内会の役員の協力により実施いたしました。

今年は、雪山を残していただきましたが、純白の雪とはいかず、スノーダンプで雪を集め、化粧しての会場づくり、開催にこぎつけました。

柏山通終点にある平和駅の横に、雪山を積み上げたり、キャンドルを配置したり、ピラミッド上に重ねたり、また、バス回転路の横にも2段、3段重ねのキャンドルを作成しました。

幻想的なオレンジ色の灯火、キャンドルを背景に我が子をパチリと写したり、東日本大震災の鎮魂ですかと尋ねられたり、親子で記念写真をとったり、ほのぼのとした姿も見られました。

見学者よりキャンドルの作成方法を聞かれたり、少しづつでも広がりを見せることを期待しつつ説明をしておりました。小学生が、一緒にキャンドルをともしたり、思いで作りができたようです。平和駅入口横では、甘酒やホットコーヒーのコーナーを配置し、地域の方々が見学者にすすめていました。



翌日より栄通18丁目町内会内でも開催されました。

LEDを使っただけのキャンドルも登場、斬新なアイデアでしたが、光源が弱く輝きに難があり、次年度の検討課題と話し合われておりました。

(長井)

つなげよう～雪あかり・・・栄通18丁目

昨年に引き続き、柏町内会・大谷地第一町内会様より譲り受けた「雪あかり」を、南郷18郵便局をはじめ生協の西側出口から清田通にむけ1月28日より2月15日まで灯させていただきました。両町内会に心から感謝と共に、この輪が少しずつでも広がることを祈ります。(市橋)



スポーツアラカルト!

★第44回 白石区民卓球大会が、11月23日〔水・祝〕に白石体育館で開催されました。

大会は、個人戦のみで、出場選手数は156名でした。

対戦は、中学生のみ参加人数が多くトーナメント戦とし、他の部門はリーグ戦で実施し、順位決定戦を、各ブロック1位の方によるトーナメント戦で決定しました。

今年度より一般男女・壮年男女をそれぞれ年齢別にし、それぞれ30歳以下、50歳未満、50歳以上として実施しました。

白石東地区より参加した小学生女子は、日本ハムファイターズのファン感謝デーに行く予定でしたが、地区大会で涙ののんだりベンジをはたそうと参加し、見事優勝しました。

50歳以上女子の部では、地区大会優勝した方が全勝で優勝しました。

地区大会・白石区民大会の開催にあたり、大会運営に携わった皆さん、選手の皆さん、保護者の皆さんに感謝申し上げます。



★第25回 白石東地区室内スポレク大会が、平成29年1月22日に大谷地小学校体育館で開催され、ミニバレーとテニポンの2種目を実施致しました。

ミニバレーには、少年野球の大谷地ヤングタックスの父母で構成した4チーム、大谷地第一ファイターズチーム、柏町内会チーム、柏・第一・第二町内会連合チームと大谷地小学校で活動している学校開放チームの8チームによるリーグ戦で実施しました。女子のみの参加が2チームであったためスポレクの精神からすべて一緒に行い、2つのリーグで予選を実施しました。ブロック1位同士で決勝戦を、ブロック2位同士で3位決定戦を実施しました。経験の乏しいなか、変化の大きいボールを追いかけ、和気藹々な中でゲームを楽しんでいました。テニポンでは、9名の参加で、ペアを変えながらゲームを進めていました。



この大会の結果をもとに、平成29年2月26日に開催されます第26回白石区民室内スポレク大会〔白石区体育館〕に地区代表として参加いたします。

白石東地区より、ミニバレーに7チーム、テニポンに6チームがエントリーしました。44名もの選手で、他地区に比較し1番多くの参加者です。出場選手の活躍を期待するとともに、怪我なく、楽しく、他地区の皆さんと交流を深めていただくことを願っています。

白石東地区では、春のマラソン大会、春秋2回開催しているグランドゴルフを楽しむ会、夏の少年野球大会、卓球大会、冬の室内スポレク大会を開催しております。

また、白石区では、9月には区民ふれあい健康マラソン大会、11月には区民卓球大会、2月に室内スポレク大会が開催されております。

平成29年度も各種スポーツ大会を開催する予定でありますので、より多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。(長井)



第25回子どもかるた会

平成29年1月21日(土)、第25回子どもかるた会が白石東会館で青少年育成委員会により主催されました。近年参加者が減少傾向にある中、小学1年生から6年生まで44名の子どもたちが参加し、お正月の遊びのひとつである日本伝統の百人一首を楽しみました。

昨年同様、申し込みの時にどのくらい百人一首の札を取れるかを自己申告してもらい、そのレベルに合わせてチーム分けをしました。

午前中は百人一首初心者の子もたちと、慣れていない子供たちの2手に分かれて練習をしました。初めて会った人とでもすぐに仲良くなり、和気あいあいと楽しそうに練習をしている様子が子供らしくて微笑ましいものでした。午前の練習が終わると、待ちに待った昼食です。子どもたちは育成委員手作りのお雑煮とおしるこに舌鼓。「美味しい〜!」とおかわりをする子もたくさんいました。

午後からは、いよいよ本番。練習の成果の見せ所です。試合形式で2回行い、積札の合計枚数で順位を競いました。取り札の木札を弾き飛ばす子、無言で黙々と取る子、自分の取り札から一時たりとも目を離さない姿は真剣そのもの。いたるところで熱戦が繰り広げられていました。

ご来賓として出席していただいた町内会長の皆様をはじめ、育成委員OBの方、その他様々な方々のご協力をいただき、無事に終わることが出来ましたことに感謝申し上げます。(木田)



子育てサロン「このゆびと～まれ！」クリスマス会

白石東地区では、毎月第3水曜日の午前10時から11時半に子育てサロン「このゆびと～まれ！」を開催しています。会場は白石東会館の1階ホールで、今年の11月で開催150回目を迎えました。毎月たくさんの親子さんが遊びに来て、楽しいひとときを過ごしています。主に前半は自由に遊んでいただき、後半はアンパンマン体操や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行っています。その中で、参加の親子さんが1番に楽しみにされているのが12月のクリスマス会です。前年度は会場が改修工事のためお休みしましたが、今回は1年ぶりのクリスマス会（12月21日）を盛大に行いました。



スタッフも会場をクリスマスモードに飾りつけしたり、赤いエプロンをお揃いでつけて、来場の皆さんをお出迎えしました。いつもと違う華やかな雰囲気に参加者もワクワクした気持ちになり、自然と笑顔がこぼれます。当日は、折り紙でクリスマスツリーを作ったり、クリスマスに関連した可愛い人形のボードビル発表や大型絵本の読み聞かせをしました。また、スペシャルゲストとしてサンタさんとトナカイさんも登場し、参加のお子さんも大喜びでした。サンタさんから皆さんに素敵なプレゼントもいただき、一緒に記念撮影もしました。記念撮影では間近でサンタさんを見て、にこにこ笑顔で抱っこされるお子さんや緊張からか泣いてしまったり、固まってしまうお子さんもいて、会場も笑いに包まれました。

今回は33組の親子さんが参加されましたが、クリスマス会に限らず、毎月の子育てサロンにも、どうぞお気軽にお越しください。
(甲斐)



雪であそぼう！ at 大谷地小学校

平成28年度白石東地区まちづくり協議会主催の世代交流プロジェクト事業「雪であそぼう！ at 大谷地小学校」が、1月11日(水)に大谷地小学校のグラウンドで開催されました。

前日の会場作成では、12月の大雪で昨年のような少雪に心配することはなかったのですが、除雪機の高さを上回る雪で除雪機が雪の下に潜り込んでしまい進めない状況でした。除雪機で通路と汽車ごっこのコース作りを考えていたのですが、各担当の会場作成をした後、急遽みんなで踏み固めてコースを作り、除雪機には、坂すべりの山づくりに威力を発揮してもらい、何とか坂の高さを確保して準備を終えました。雪が少なくても多くても準備は大変なものであることをつくづく思い知らされました。準備にご協力いただいた方々お疲れ様でした。

当日は、午後から雪で全道的には暴風雪という予報で心配したのですが、実際には曇りのち晴れの天気に恵まれ、例年通り保育園児等が続々遊びに来てくれました。遊びのコーナーには、各町内会や各団体担当の「汽車ごっこ」「坂すべり」「ボールコロコロ」「まとあて」「雪色あそび」「雪中かるた」「雪中サッカー」「雪中相撲」「スノーフラッグ」があり、子どもたちはまずお目当てのコーナーで遊んでから、いろいろなコーナーをまわり歓声をあげながら時間いっぱい楽しんでいました。最後は、全員でアンパンマン体操をして、宝探しをしました。大きなたらいの雪の中に埋まっている宝めがけて、足場の悪い中を突進し、宝を手にして大喜びでした。

しかし、気温は今シーズン(2/21 現在)で二番目に寒い最高気温-6.7℃(ちなみに翌12日が-7.5℃)の日で、一般の親子にとっては寒すぎたのが原因か、昨年の四分の一の参加にとどまりました。それでもスタッフ・ボランティアを含め411名の参加者を数え大いに盛り上がりました。

まちづくり協議会に加盟している各種団体のスタッフの皆さん、そして東白石中学校18名、柏丘中学校22名、白石高校2名のボランティアの皆さん、更に準備の段階で参加募集のポスターとチラシのデザインをしてくださった札幌商工会議所附属専門学校の学生の皆さん、会場案内ポスターを作成してくださった東白石中学校生徒の皆さん等々、多くの皆さんのお陰で、寒い中ではありましたが無事楽しく終えることができました。

(鈴木)

